

2020年3月期 第1四半期 決算概要

2019年8月2日
シスメックス株式会社

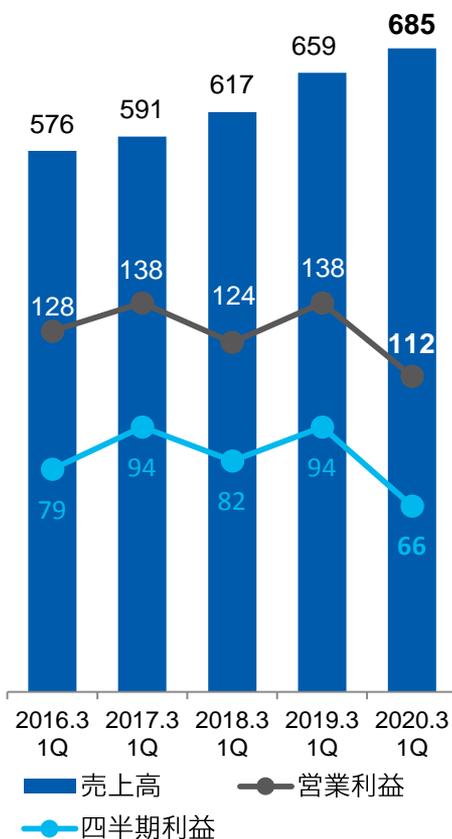
<本プレゼンにおける掲載内容の変更について>

- 2019年3月期第3四半期までは所在地別にて掲載していましたが、2019年3月期末より地域別での掲載へ変更しております。
- 所在地別の売上高、営業利益については、参考資料として掲載しております。

当社グループは、国際会計基準（IFRS）に準拠して開示しております。

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

(億円)



	2020年3月期1Q	前年同期
1USD	109.9円	109.1円
1EUR	123.5円	130.1円
1CNY	16.1円	17.1円

(億円)

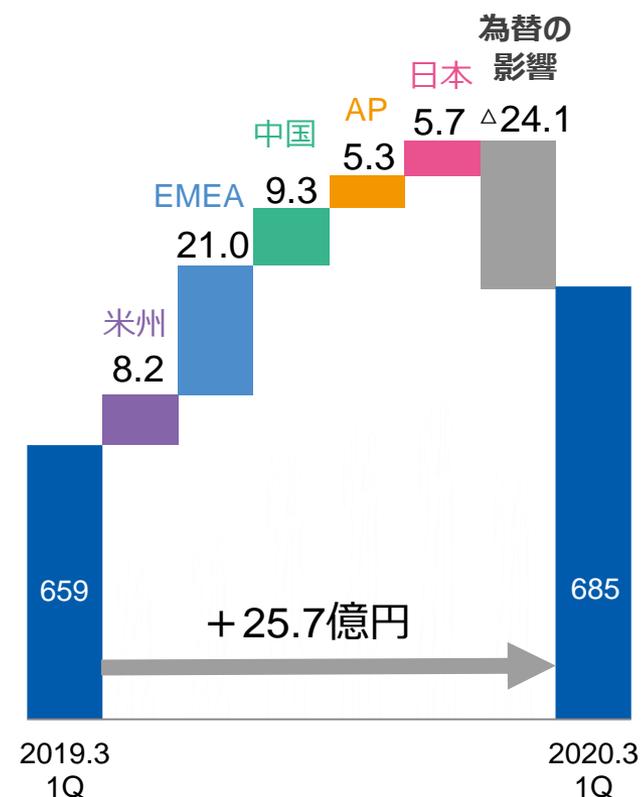
	2020年3月期 1Q		前年同期		前年同期比
	実績	構成比	実績	構成比	
売上高	685.4	100%	659.6	100%	103.9%
売上原価	316.7	46.2%	283.2	42.9%	111.8%
販売費及び一般管理費	207.0	30.2%	201.3	30.5%	102.9%
研究開発費	49.9	7.3%	42.0	6.4%	118.7%
その他の営業損益	1.1	0.2%	5.3	0.8%	21.2%
営業利益	112.7	16.5%	138.3	21.0%	81.6%
親会社の所有者に 帰属する四半期利益	66.9	9.8%	94.2	14.3%	71.1%

- **売上高** 円高の影響を受けるも、各地域でヘマトロジーを中心に伸長し、増収
- **営業利益** 円高の影響、機器やサービスにおける原価率の悪化やバイオ診断薬拠点の関連費用等により、減益
 - 為替の影響 売上高 △24.1億円 営業利益 △11.3億円
 - 前年同期為替レート適用の場合 売上高 107.6% 営業利益 89.8%
- **四半期利益** 営業利益の減少に加え、為替差損の影響等により、減益
 - 為替差損益 △10.6億円
- **設備投資 (有形)** 31.4億円
- **減価償却費** 57.6億円

売上高の増減要因（地域別）

	2020年3月期 1Q		前年同期比	
	実績	構成比	円貨	現地通貨
売上高	685.4	100.0%	103.9%	-
米州	158.0	23.1%	105.8%	105.0%
EMEA	192.0	28.0%	105.5%	111.1%
中国	176.7	25.8%	98.8%	105.4%
AP	57.1	8.3%	106.3%	-
日本	101.4	14.8%	106.0%	-

地域別売上高



● 新興国の売上高構成比率

2020年3月期1Q	2019年3月期1Q
37.7%	38.7%

事業別・品目別売上高



(億円)

	2020年3月期 1Q		前年同期		前年同期比	前年同期比 (前期レート)	
	実績	構成比	実績	構成比			
事業別	ヘマトロジー	431.6	63.0%	413.7	62.7%	104.3%	107.6%
	凝固	110.3	16.1%	106.0	16.1%	104.1%	108.9%
	尿	49.2	7.2%	48.0	7.3%	102.5%	107.4%
	免疫	29.8	4.3%	30.5	4.6%	97.6%	101.1%
	生化学	6.2	0.9%	7.2	1.1%	86.3%	87.8%
	FCM事業	3.7	0.5%	2.8	0.4%	129.5%	134.6%
	IVDその他	29.4	4.3%	27.8	4.2%	105.6%	109.2%
	IVD事業	660.4	96.4%	636.3	96.5%	103.8%	107.4%
	LS事業	24.9	3.6%	23.2	3.5%	107.3%	111.1%
売上高 計	685.4	100.0%	659.6	100.0%	103.9%	107.6%	

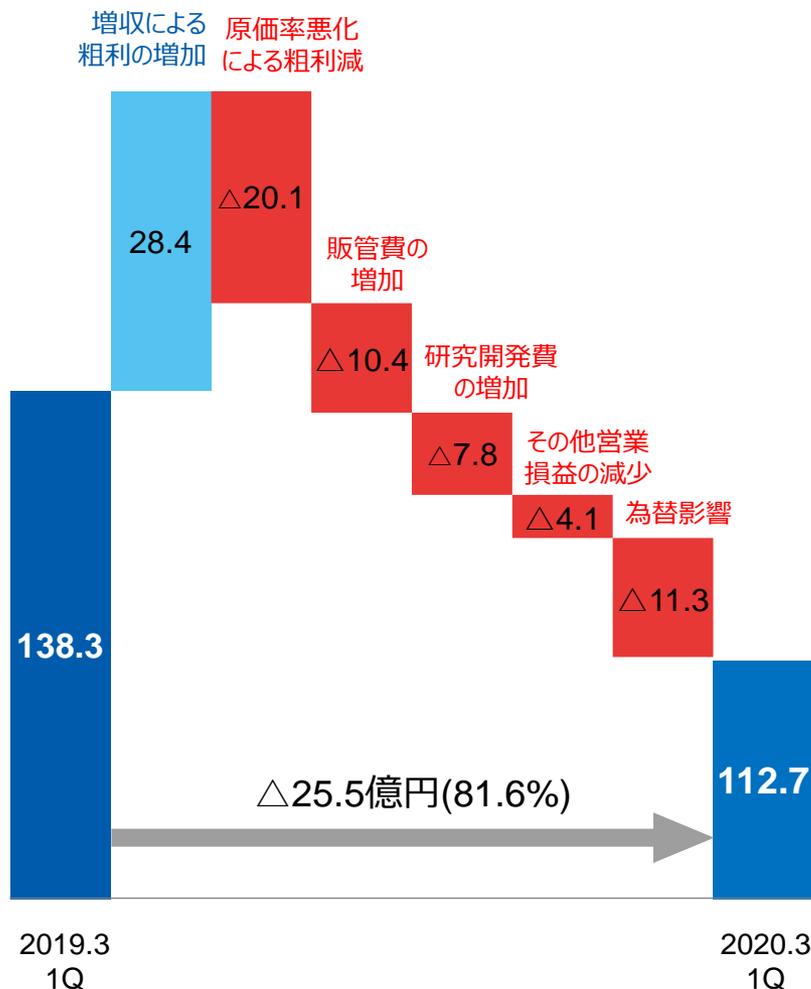
品目別	機器	167.1	24.4%	164.1	24.9%	101.9%	105.6%
	試薬 ※	406.3	59.3%	401.4	60.9%	101.2%	105.0%
	サービス ※	86.6	12.6%	75.9	11.5%	114.0%	116.2%
	その他	25.2	3.7%	18.0	2.7%	139.7%	145.6%
	売上高 計	685.4	100.0%	659.6	100.0%	103.9%	107.6%

※中国地域において、2019年3月期2Qまで「試薬」に計上していた売上の一部を、2019年3月期3Qより「サービス」へ組み替えています。

営業利益の増減要因

営業利益

(億円)



円高の影響や、原価率悪化、バイオ診断薬拠点の関連費用等により、減益

※下記数字は為替の影響を除く

● 原価率の悪化 (2.9%悪化)

- 中国における販管費から原価への組み替え : +1.4%
- 日本などにおける機器仕入れ製品増加等による影響 : +0.9%
- 中国代理店へのサービス委託費増加 : +0.4%
- 米国サービス体制強化によるサービスコスト増加 : +0.3%
- プロダクトミックスによる改善 : △0.5%

● 販売管理費の増加

- 米州、EMEAにおける販売体制強化による労務費増 : 6.3億円
- バイオ診断薬拠点の移設費用等 : 2.4億円

● 研究開発費の増加

- バイオ診断薬拠点による費用増加 : 3.1億円

● その他営業損益の減少

- 中国助成金収入 (右記は前年同期の受領金額) : 5.1億円

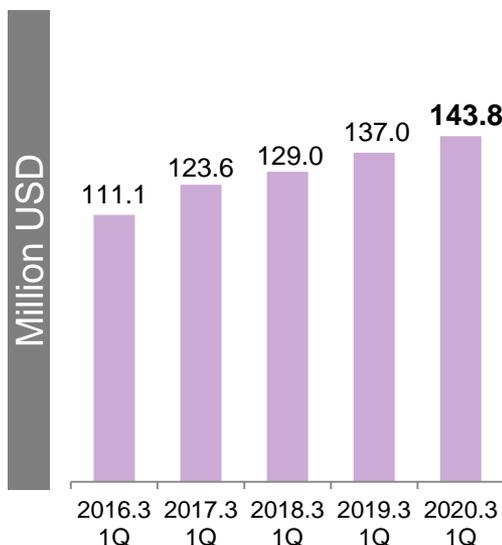
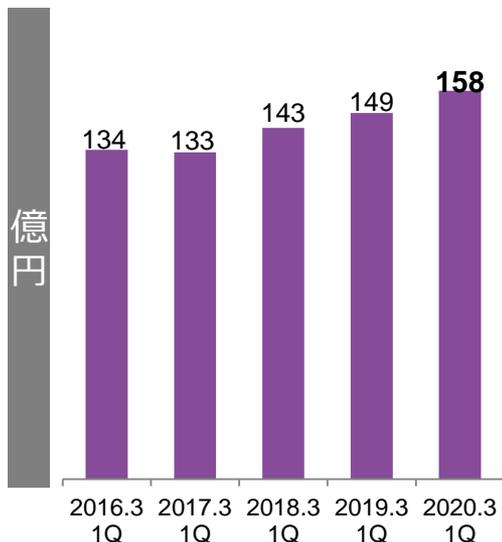
● 為替の影響による減少

: 11.3億円

※ バイオ診断薬拠点関連費用合計 : 5.9億円

(原価 : 0.3億円、販売管理費 : 2.4億円 研究開発費 : 3.1億円)

売上高



(億円)

	2020年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	158.0	149.4	105.8%	105.0%
機器	40.9	40.4	101.4%	100.6%
試薬	73.2	68.2	107.3%	106.5%
サービス・その他	43.8	40.7	107.5%	106.7%

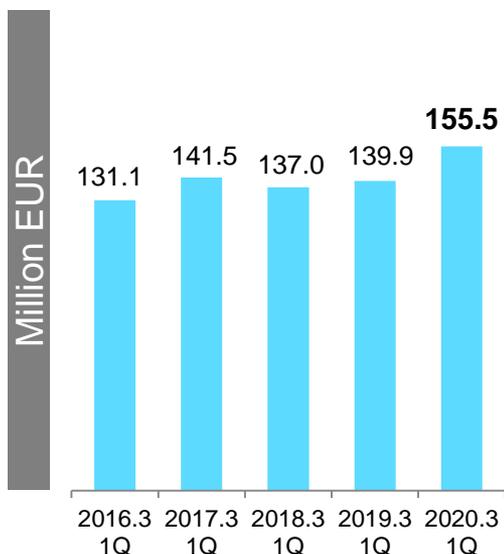
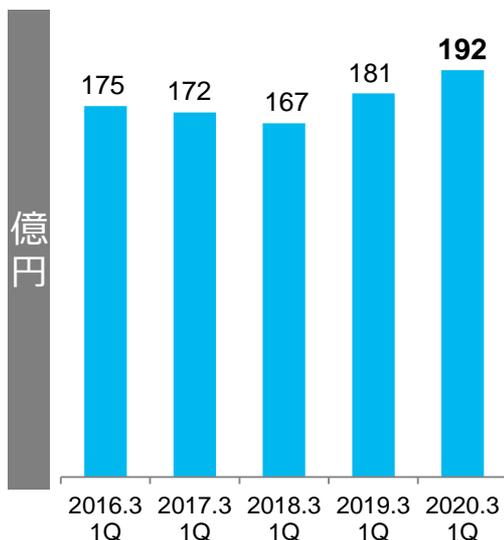
米国の尿、凝固分野、ブラジル代理店向け売上が減収するも、米国、カナダのヘマトロジー分野の売上伸長により、増収

- 米国：新製品のFDA認可が遅延している尿分野や、前年同期に大手検査センター向け案件があった凝固分野が減収するも、ヘマトロジー機器設置台数増加により試薬やサービス売上が伸長し、増収
- 中南米：ブラジルの売上が減少も、その他中南米が増収し、横ばい

トピックス

- ブラジルのヘマトロジー分野中下位市場における販売体制変更について、ロシュ社と合意。3Qより新体制にてスタート予定

売上高



(億円)	2020年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	192.0	181.9	105.5%	111.1%
機器	53.6	52.0	103.1%	108.6%
試薬	110.1	102.1	107.9%	113.6%
サービス・その他	28.2	27.7	101.5%	106.9%

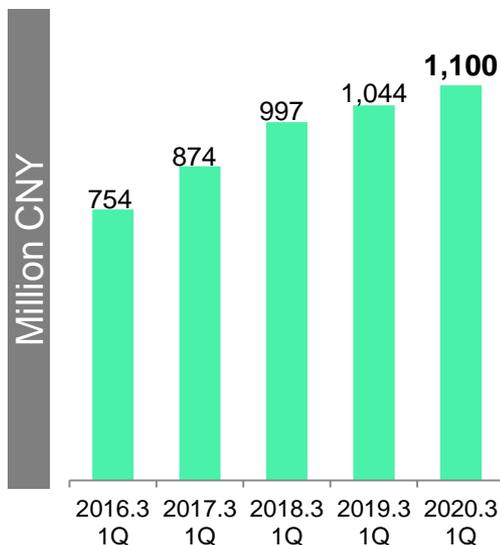
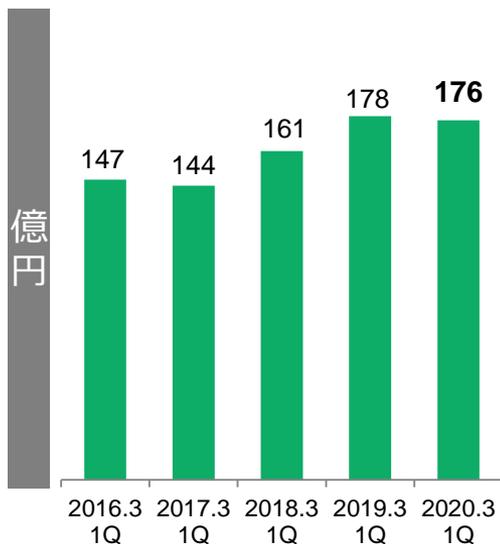
中東など新興国におけるヘマトロジー分野の試薬売上の伸長や、イギリス、フランスにおいて尿分野の直接販売が好調に推移し、増収

- 主要5カ国：イギリス、フランスにおける尿直販による伸長等により増収
- その他欧州：オランダにおけるヘマトロジーシステム案件増加等により増収
- 中東：18年7月より直販を開始したエジプトや、直接サービス&サポートを開始したサウジアラビアなどで伸長し、増収
- 東欧・ロシア：ポーランドにおける検査センター案件獲得等により、増収

トピックス

- ロシアにおいて試薬生産工場を設立、2Qより生産を開始予定

売上高



(億円)	2020年3月期 1Q	前年同期	前年同期比	
			(円ベース)	(現地通貨ベース)
売上高	176.7	178.8	98.8%	105.4%
機器	44.7	46.7	95.7%	102.0%
試薬	113.8 ※	126.9	89.7%	95.6%
サービス・その他	18.1 ※	5.1	355.4%	378.9%

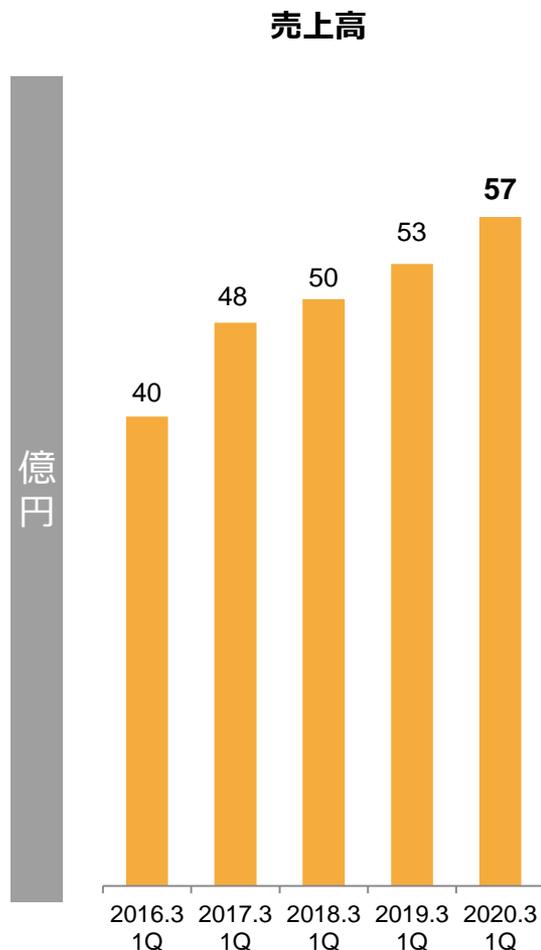
円高の影響により減収も、現地通貨ベースではヘマトロジーや凝固分野が伸長し、増収

- 機器：現地通貨ベースでは、前年度4Qに需要が集中した免疫分野において減収するも、凝固分野の伸長により、増収
- 試薬：凝固分野において減収するも、ヘマトロジー、尿、免疫分野などで伸長し、現地通貨ベースでは組み替えの影響を除くと増収

※「試薬」に計上していた売上の一部を、2019年3月期3Qより「サービス」へ計上。
 今期への影響額：約9億円

トピックス

- ハックダウン生産によるXS-500ixの販売は堅調に推移



(億円)	2020年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 (円ベース)
売上高	57.1	53.7	106.3%
機器	11.4	13.9	82.1%
試薬	40.0	34.5	115.9%
サービス・その他	5.6	5.2	107.7%

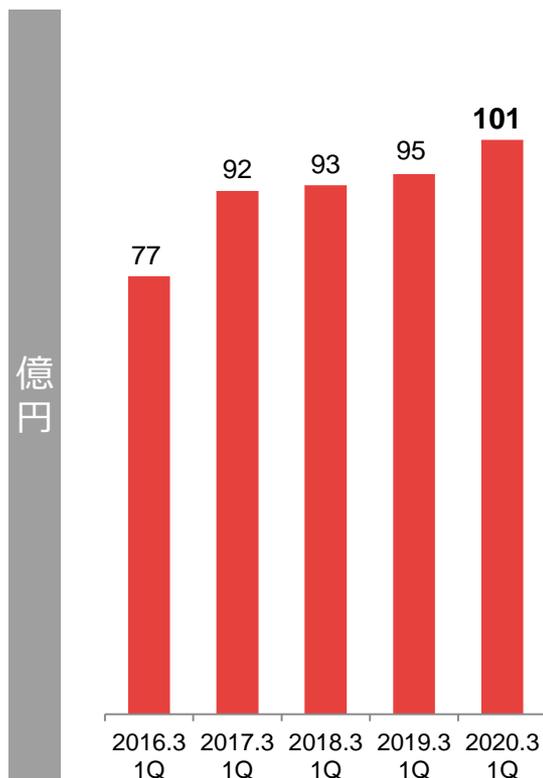
東南アジアにおいてヘマトロジー、免疫分野の試薬の伸長などに加え、販売体制を変更したインドにおいても売上が好調に推移し、増収

- 機器：前年同期にヘマトロジー大型案件があった台湾や、国民皆保険の財源不足により機器案件が減少しているインドネシアなどが影響し、減収
- 試薬：デング熱の流行により東南アジアにおいてヘマトロジー分野の売上が伸長し、免疫分野においてもフィリピンやインドネシアなどで機器設置台数が増加し、増収

トピックス

- インドにおいて4月より販売体制を変更、ヘマトロジー分野の中上位市場攻略をスタート

(億円)	2020年3月期 1Q	前年同期	前年同期比 (円ベース)
売上高	101.4	95.6	106.0%
機器	16.3	10.9	149.6%
試薬	69.0	69.5	99.3%
サービス・その他	15.9	15.1	105.6%



ヘマトロジー、凝固、ライフサイエンス分野において機器売上が伸長し、増収

- 機器：ヘマトロジーシステム買い替え案件の増加や、凝固分野の新製品（CNシリーズ）の好調な販売等により、増収
- 試薬：ヘマトロジー試薬の出荷期ズレ等により、微減

トピックス

- がんゲノムプロファイリング検査用システムの「NCCオンコパネル」が6月より保険適用開始。2Qより受託開始予定

2020年3月期 連結業績予想

売上高 **3,200億円**

営業利益 **640億円**

営業利益率 **20.0%**

親会社の所有者に帰属する当期利益 **420億円**

当期利益率 **13.1%**

投資計画

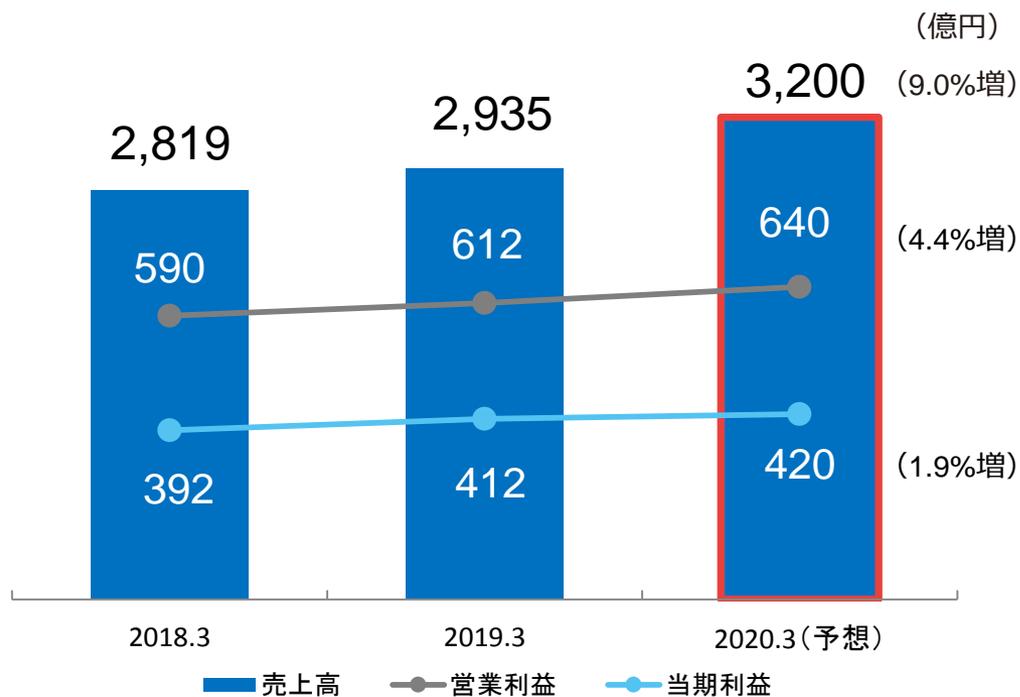
設備投資 **140億円**
(有形のみ)

減価償却費 **240億円**
(IFRS16適用による
リース会計基準の変更含む)

研究開発費 **220億円**

● 想定為替レート

	通期想定	前期実績 (19年3月期)
1 USD	110.0円	110.9円
1 EUR	125.0円	128.4円
1 CNY	16.5円	16.5円



(参考資料) 所在地別PL

所在地別PL（売上高・営業利益）

(億円)

		2020年3月期 1Q	2019年3月期 1Q
米州	外部売上高	146.5	139.5
	営業利益	4.4	6.8
EMEA	外部売上高	195.9	187.0
	営業利益	15.7	13.2
中国	外部売上高	176.5	178.5
	営業利益	18.3	34.7
AP	外部売上高	56.6	53.2
	営業利益	6.0	4.9
日本	外部売上高	109.6	101.2
	内部売上高	225.2	229.3
	売上高	334.8	330.6
	営業利益	68.9	80.9

Lighting the way **with diagnostics**